

万燈まつりの始まりのころ…

— 関係していた方々にお聞きしました。

入間市が、元の6町村が集まって合併したのは昭和41年のことになりました。当時入間市は全国でも人口増が6番目のまちだったのです。元の人口が3、4万人だったのに、市ができて10年目には10万人になっていました。わずかの間に約7万人もの人々がやってきたことになりました。そういう状況でどうやって市としての一体感ができるのかということがまちの大きな課題でした。当時の「まちづくり」といえば道路とか区画整理とかのハード面が施策の中心でした。特に「まつり」なんていうイベントことは、遊びという感じに見られていて、市を挙げて「まつり」をしようなんていうことは一般的に考えられませんでした。しかし、市をまとめるには、「戦後価値観の共有イベント」が必要だと思ったのです。市が、様々な仲間作りをしながら研究を重ねて、具体的に「まつり」を課題にして取り組みをはじめたのは、市制施行20周年のときからでした。

昭和61年市制施行20周年の年に、若手の市民、店主や市職員等が立ち上がり、例年行われていた「市民フェスティバル・商まつり」を拡大し、よりよい姿に育てていこうという話になりました。

実際「まつり」を始めてみると、イベントを実務で仕切る「影舞台」が必要になりました。広く市内外から参加していただいていた

になることもありました。そんなとき、一喝して、切り札は「できませんよ」というその一言で、その場を治められる人が必要だったのです。トラブルを起こした人の中には、顔でニコニコ話しながら、足元ではこちらの足を蹴ってくる人もいました。その「痛いこと痛いこと」、でもそんなことを繰り返して何年かたつと、その揃い半纏を見るといかつい人たちも大人しくなりました。数年後に姉妹都市である佐渡市(当時の両津市)の市長さんが、運営にあたる揃いの半纏の面々が、わらじをはいているところを見つけて、「入間市は、まつりに本気なですね。」という言葉をいただきました。伝統芸能の盛んな佐渡でも、わらじをはいて「まつり」を影で支える姿、グループはなかなか見ること



すし、おまつりでお酒も入ることから、トラブルや喧嘩になることもあり、それに迅速に対応できるようなスタッフが必要になりました。そこで私たちは揃いの襟元に3本の朱線を入れた半纏を誂え、トラブルを解決する部隊をつくりました。簡単に言えば市民同士のトラブルを無事に治める役割の人間です。参加者の中には、浅草や深川等でまつりに参加している方、「担ぎや」と呼ばれるような荒っぽい方々もきます。多様な方々がいて、興奮してきて、お酒が入るとトラブル

ないというお話しで、私自身、入間市の仲間を誇らしくも思い、とてもうれしく思った記憶があります。

万燈まつりの基本は、すべて手作りのところかなと思います。お金を出して人気のある芸能人を呼んでくることはないし、舞台のプログラムもすべて手作りで。おまつりでは、珍しく市民の屋台が、出店の主役です。

みんなの「心」「文化」や「灯」を「持ち寄り」、みんなで享受するのが「おまつり」だと思います。「万燈まつり」においては、そのシンボルが「万燈」であると思います。今年の「おまつり」も、そんな気持ちで楽しみたいですね。



フジパン

イーストフード乳化剤を使いません
本社場で離乳食デビュー

Instagramでレシピ公開
honjikomi_fujipan

平成30年度(第40回記念)入間万燈まつり
開催おめでとうございます

土木工事一式・水道工事一式
株式会社 島崎土建
入間市東町2-3-41 ☎04-2962-2789

隊友会
— 自衛隊員OBの会です —

出店場所: 茶の花案内所向かい
出店内容: 生ビール・コロッケ・自衛隊グッズ

たくさん楽しんでね

入間ご当地グルメ
会場: 彩の森広場

- A 株式会社霜原産業 入間産ポテトフライ・から揚げ・生ビール
- B ところざわ自動車学校 狭山茶たいやき 狭山茶だ ソーダ
- C 有限会社 定 オールさいたまらーめん (感謝価格として500円で提供します)
- D 手打ちうどん つきじ うどん・そば・アルコール

狭山茶製造元 **武増田園本店**

是非お立ち寄りください
出店場所: ひばり通り 39
出店内容: お茶販売・野菜

全館有線LAN設置 入間市役所に隣接 静かな環境のビジネスホテル
入間第一ホテル
IRUMA DAI-ICHI HOTEL

シングル 6,800円~
ツイン 13,000円~

予約は ☎04-2966-3111

インターネット予約で「各種お得プラン」あり <http://www.iruma01.com/>